

新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、お健やかにお過ごしのことと拝察いたします。長いお休みを経て、生徒たちが戻り、にぎやかな笑い声が校舎に響きます。最終学期を迎える、各学年、進級、卒業に向かって、準備にとりかかりました。今日は、始業式に生徒に話をした内容を保護者の皆様にもお伝えしたいと思います。（以下、始業式の式辞から引用）

「一般的に言う『希望』には2種類があります。それは、英語で区別するとExpectationとHopeです。Expectationは、日本語に訳すと、正確には『期待』、これは、人間が作り出すものです。そのため、時に、自分の思い通りにならないことがあります。もう一つは、Hope、これは、『希望』あるいは『望み』と訳しますが、聖書の中では、すでに人間の心にまかれているものと考えます。深めて解釈すると、『神への信頼』、『神との約束』を意味します。Hope（希望）は決して人を欺くことがありません。そこに神の摂理（ご計画）が働いているからです。しかしながら、Expectationも、Hopeも両方、人が前を向いて歩んでいくには欠かせないものです。

概して、私たちは、Expectationのほうを希望と呼んでいます。したがって、人間が作り出したものですから、どんなに願っても、叶わないことがあります。あなたが立てた計画がくじかれる時もあります。『なぜ私だけ？』という気持ちが湧いてきた経験は、誰にでもあることでしょう。そのような時は、自分の人生がどのような方向にこれから向かっていくのか、不安で仕方がなくなります。

生き方がとても『受け身』に聞こえるかもしませんが、私はこのような時は、自分が願っていたことが、神様が私に期待されたことと、違ったのだと思うようにしています。それならば、神様はわたしに何を望んでおられるのか、それを考えると、Hopeへの考察にたどり着きます。

神様はわたしにどのようなHOPEをまかれたのか。終業日のクリスマスミサ時に、ご降誕をお祝いする歌が流れ、スクリーンにその歌詞が映し出されました。その歌詞は、次のようにあります。“Hope was born this night.”決して、“Jesus was born tonight.”という歌詞ではありませんでした。イエス様のご降誕を通して私たちひとり一人にまかれた希望、それは神様の希望であると言えるでしょう。そこに神様のご計画が働きます。したがって、どんなに絶望する事があるても、この希望があるかぎり、神様は、わたしをしかるべき場所へと導いてくださるはずだと考えることができます。そして、私たちは『神への信頼・神との約束』、つまりHOPEにたどり着きます。

昔から人間は自分の運命について二つの見解を持っています。一つは、人間は自由にその生涯を自己の努力を持って望むままに、築き上げることが出来るという考え方です。

もう一つは、それとは反対に、人間はどれだけ努力しても、ある定められた力の下に在って、定められた計画に従うのであり、一歩もそこから外に出ることは出来ないとの考え方です。

前者は『自由意志』を強調するものであり、後者は『宿命』いう考え方です。あなたはどちらの考え方を好みますか？二つの考えにはそれぞれ意味があり、どちらか一方が正しい考え方で、他方は誤りであると言うことは出来ません。しかし、わたしは、これら双方が合わさった時に、眞の意味での希望が実現するのではないかと考えるのです。Hopeを土台にして人間が作り出すExpectationは、必ず実現していきます。

さらに、聖書に拠って考えてみます。宗教の時間にすでに習っていると思いますが、神はイスラエル民族に土地を与えられました。しかしそれを獲得するか否かはイスラエル民族の責任なのです。恩恵の贈り物は神から与えられるのですが、人から言えば同時にそれは努力して、獲得すべき課題・任務でもあります。『棚から牡丹餅』のようにはなりません。これが聖書の考え方です。

2026年の年は始まりました。生徒の皆さんには神様からどんな恵みを受け、どんな抱負・希望・計画をあたえられているのでしょうか。それらはあなたがたに神様が与えてくださった恵みです。そして、いただいた恵みが実現されるように努めるのは私たちの課題です。これから一般入試に臨む3年生、最後まで、あきらめないで頑張ってください。あなたの希望が叶いますようにと、祈ります。

「そこで、わたしのこれらの言葉を聞いて行う者は皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている。雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家を襲っても、倒れなかった。岩を土台としていたからである。」（マタイ7:24-25）。

今年も、様々なことにチャレンジしながら、『HOPE and EXPECTATION』の精神で、前を向いて生きていく私たちでありたいと思います。」

本校の宗教教育および教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



FUKUOKA KAISEI GIRLS'
HIGH SCHOOL
2026.1
ご挨拶
校長
古賀 誠子

クリスマス記念ミサ

サン・スルピス司祭会の中尾直通神父様をお招きして、クリスマス記念ミサを行いました。

シスター入江の描かれたクリスマスの聖画に合わせて宗教委員会がイエス・キリストの誕生の出来事を劇にして祝う「聖劇」を行いました。

【聖劇】



「キャンドル・サービス」では、一つの小さな火から全校生徒一人ひとりに火が灯されていました。私たち一人ひとりの心の中にも、「世の光」であるイエス・キリストが誕生するように願い、イエス様の光によって照らされた私たちが、この世の闇を照らす光となることができるよう、静かに火を見つめながら祈りました。

【キャンドルサービス】



「ミサ」の中で中尾神父様は「心の中にいる善良さをこれからも輝かせてください」と優しく語りかけられました。イエス様の善良さによって私たちに愛と平和がもたらされました。私たちが優しい世界を作るためにはどうしたら良いのかを考えました。閉祭の歌『ハalleluya・コーラス』では日々の練習を通してだんだん全校生徒の心が一つになっていくかのようでした。大合唱することで、救い主イエス・キリストのご降誕を共に喜び祝いました。

【ミサ】



「シスター入江のお話」では小さな物でも分け合うことの大切さ、神様からいただいた愛を私たちも誰かのために使うことが自分の豊かさにもつながっていくことを知りました。皆で心を合わせ『アヴェ・マリア』の祈りを唱えました。

【シスター入江のお話】



「クリスマス・プレゼント」もいただきました。海星らしく温かな雰囲気の中、生徒・保護者・教職員が一つとなり、救い主イエス・キリストのご降誕の喜びを分かち合う、希望に満ちたクリスマス記念ミサを過ごすことができました。

【クリスマス・プレゼント】

クラスマッチ

12月12日にクラスマッチがおこなわれました。種目はバレー、バスケット、ドッジボールの3種目でした。今回は先生も参戦し、みんな大喜び、大歓声でした。延長戦にもつれるほどの大熱戦で終えたクラスマッチ、思い出に残る楽しい1日となりました。以下、結果及び生徒の感想を掲載いたします。

バレー ボール 優勝：3年C組 準優勝：2年B組 3位：1年B組 3位：3年B組
バスケットボール 優勝：3年B組 準優勝：1年B組 3位：3年C

ドッジボール 優勝：1学年 2位：3学年 3位：2学年

教員MVP 校長先生



生徒感想 【バレー】



【バスケットボール】

「高校に入って初めてのクラスマッチは中学校の時とは雰囲気も規模も違い、始まる前からクラス全体が、楽しみにしている空気が感じられました。クラスのみんなでそろって参加する大きな行事は三回目だったので、「高校生になったんだなあ」と実感するきっかけになりました。周りの人と声を掛け合いながらボールを投げたり避けたりする中で、クラスで協力することの大切さを改めて感じました。失敗してしまったときも、責めるのではなく励ましてくれる雰囲気があり、とても温かいクラスだと思いました。点が入ったときには自然と歓声が上がり、惜しい場面では「ドンマイ！」と声をかけるなど、応援にも力が入りました。プレーしていく中で、クラスの一員として一緒に戦っているような気持ちになれたのがとても印象的でした。この行事を通して、クラスの団結力が一気に高まったと感じました。普段あまり話す機会がなかった人とも、競技や応援を通して会話が増え、クラスの雰囲気が明るくなったと思います。高校生活はまだまだですが、このクラスマッチのおかげで、これから学校生活がもっと楽しくなると感じました。この行事は、クラスの思い出としてずっと心に残る大切なものになりました。」

「クラスマッチは3年間で個人的に一番楽しく、盛り上がった気がします。バスケでは、優勝することはできなかったけど、本気で楽しむことができました。スポーツマンシップもしっかりあったのでよかったです。自分がゲームをしていない時、審判など積極的に行うことでクラスマッチがスムーズに行くための手伝いができました。」

「バレーはあまり得意ではない方でしたが、失敗してもチームのみんなが笑いに変えてくれたり、決めた時には一番喜んでくれたことで、嫌いなスポーツも周りの声かけなどで好きになれるんだと感じました。最終的には優勝することができ、自分も高校でスポーツが上達できたのでよかったです。」

「高校最後のクラスマッチは、最高の思い出になりました。とってもとっても楽しかったです。このクラスマッチの運営をしてくれた方達に感謝することを忘れないようにしたいです。」



【チーム先生】

街頭募金

12月6日(土)に、天神、大橋地区にて街頭募金を行いました。総合的な探究の一環として、毎年12月に「世界中で紛争、災害、貧困や格差の中で不安な日々を過ごしている人々に寄り添う」という趣旨のもとに全校生徒が活動します。

今年度はタイ姉妹校の生徒の皆さんも一緒に、「全ての人にクリスマスを」という気持ちで募金に臨みました。募金総額は284,505円で、全て「こうのとりのゆりかご」、「マリアの宣教者フランシスコ修道会」、「西日本民生事業団」に寄付しました。たくさんの方々にご協力いただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

募金活動中に、「次の時間帯は自分のシフトではないけど、このまま続けて活動したいです」と言ってくれる生徒もあり、「募金をしていただき、人の温かさを感じた」「募金をしようと思っていたが、態度や服装、声の出し方を工夫した」「頑張ってくださいと言って募金していただき、やる気が出た」「先輩方が頑張っている姿を見て、自分も最後まで頑張ることができた」などという感想が多くありました。

タイの生徒の皆さんにも英語での呼びかけてくださったので、多くの外国人の方が募金に協力して下さいました。

皆様からのご寄付に感謝するとともに、引き続き募金活動へのご支援をお願い致します。



【天神地区】



【大橋地区】



祝！バトン部大会結果報告

昨年12月6日（土）に「第53回バトンワーリング全国大会」が幕張メッセにて行われました。本校バトン部は九州代表として出場し、【金賞】を受賞することができました！

ここまで応援していただき、ありがとうございました。今年もこの舞台に立つことを目標に、練習に励みたいと思います。今後ともバトン部の応援をよろしくお願ひいたします。



Schedule of events

定時退校日	火	1/13
キッチンカーデー	木・	1/15・ 16
進研模試	金	1/17・ 18
大学入学共通テスト	土・ 日	1/19
定時退校日	月	1/27
専願入試	火	